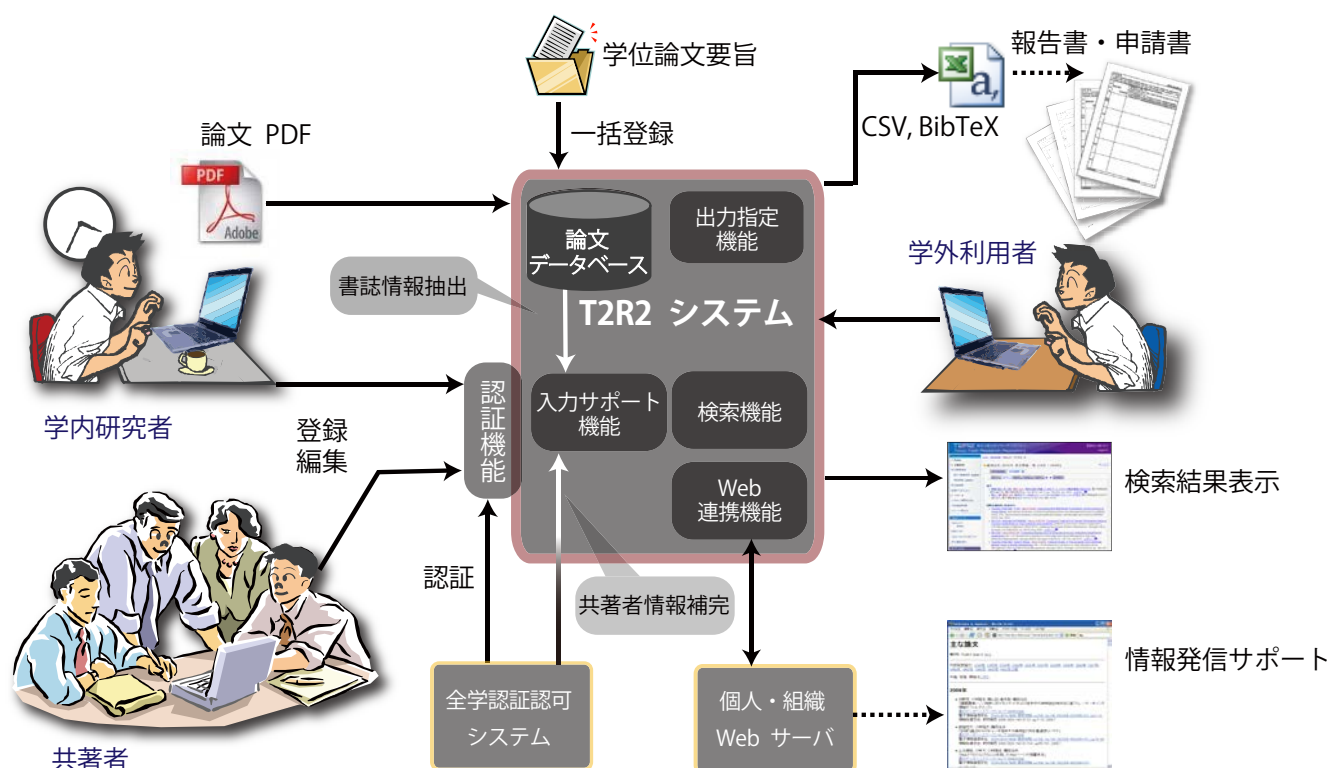


### T2R2とは

T2R2(Tokyo Tech Research Repository)システムは、東京工業大学の研究者が創出する学術論文等の書誌情報及びその全文情報の蓄積・管理、検索・閲覧、並びに発信等の機能を備えるシステムです。

### T2R2利用の流れ



### T2R2の特長

#### 外部への公開

- ▶ 本学所属研究者が発表した学術研究論文等24万件以上を対象とした検索サイトを公開。著者名、論文名、会議名称等から検索可能。
- ▶ 許諾の得られた論文は本文ファイルを公開。

#### データの活用

- ▶ 登録したデータの有効かつ多目的活用として、研究者個人のWebページや、科研費の申請書・報告書で利用できる業績一覧の出力機能を提供。
- ▶ 統計数値の出力等の各種調査への対応。

#### 入力サポート機能

- ▶ 全学認証認可システムとの連携。
- ▶ 研究者自身の業績管理ページにて、PDFからの書誌情報の取込み、著者リンク、重複チェックとマージ、一括インポート、著作権処理確認等の、入力サポート機能を装備。

## T2R2：これまでの主な活動

### 平成17年度

- ・試作版システムの開発
- ・運用指針の作成
- ・学協会著作権ポリシーのアンケートを実施

### 平成18年度

- ・T2R2システムの開発
- ・試行運用の実施

### 平成19年度

- ・**全学運用開始**
- ・学協会著作権ポリシーの搭載

### 平成20年度

- ・本文公開機能のリリース
- ・学内既存データベースとの連携

### 平成21年度

- ・学内発行テクニカルレポートについて、登録及び検索公開サイトでの組織単位での一覧表示機能搭載

### 平成22年度

- ・研究ハイライト機能の搭載
- ・研究分野情報機能の搭載
- ・一括登録・更新機能の拡充
- ・STAR Search との連携及び共通 API の開発

### 平成23年度

- ・Google Scholar への対応
- ・研究チーム管理機能の搭載
- ・アクセス状況の集計機能及びメール通知機能の搭載

### 平成24年度

- ・掲載誌入力へのサジェスト機能の追加
- ・SCPJ, SHERPA/RoMEO との API を用いた連携

### 平成25年度

- ・学位規則改正に伴い、平成25年度授与分の本学の学位論文(博士)及び要旨の登録を開始

### 平成26年度

- ・大量アクセス防止機能の強化
- ・本文ファイル登録機能の改善
- ・データ入力率・更新率集計機能の搭載

### 平成27年度

- ・ORCID ID, ResearcherID へのリンク表示及び ID 登録機能の搭載
- ・ORCID からの業績の一括取込機能の搭載
- ・本学の教育改革による組織変更等への対応

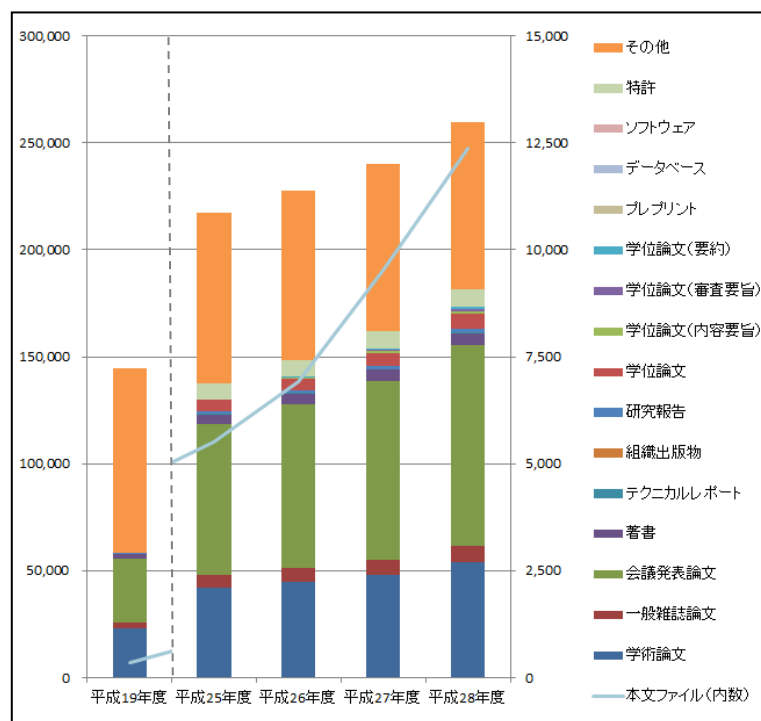
### 平成28年度

- ・運用指針の改訂
- ・ORCID との Member API を用いた連携
- ・一括インポート機能の改善
- ・重複チェック機能の強化
- ・登録支援機能の拡充

## 数字で見るT2R2

### データ登録件数 (2007.8.31～2017.3.31)

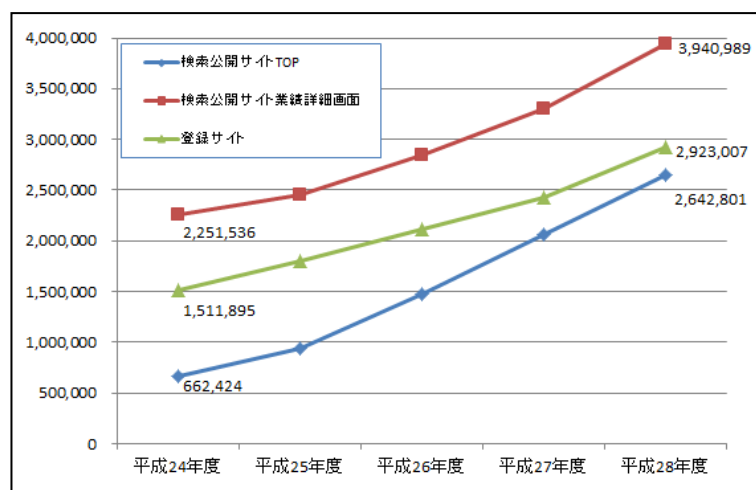
メタデータ 259,529件  
本文ファイル 12,378件



### アクセス数 (2007.8.31～2017.3.31)

検索公開サイトTOP 2,642,801件  
検索公開サイト業績詳細画面 3,940,989件  
登録サイト 2,923,007件

(検索ロボットからのアクセスは除く)



お問合せ先：東京工業大学リサーチリポジトリWG t2r2@libra.titech.ac.jp

<http://t2r2.star.titech.ac.jp/>  
(2017.04)